

平成24年度第2回山梨県後期高齢者医療懇話会議事録

日 時	平成25年2月12日（火）午後2時から午後2時52分
場 所	山梨県自治会館 2階 会議室
出席者	被保険者を代表する委員 水上秀克（老人クラブ）・輿水 泉（老人クラブ） 山口 昇（老人クラブ）・米山富子（老人クラブ） 医療関係団体を代表する委員 原 寛（医師会）・保坂裕幸（歯科医師会） 学識経験者その他の有識者を代表する委員 小澤賢蔵（県福祉保健部）・戸田 知（社会福祉協議会） 医療保険者等を代表する委員 高橋徳誉壽（健康保険協会）・田村芳夫（健康保険組合連合会） 保坂和則（国保連合会） 広域連合 菊原事務局長・三好事務局次長・河野会計管理者 望月総務担当リーダー・小林給付担当リーダー 大久保庶務担当リーダー・旗持総務担当
欠席者	被保険者を代表する委員 幡島カオル（老人クラブ）
傍聴人	なし
報道関係者	なし
懇話事項	1 「社会保障・税一体改革における国の動向について」事務局より説明 2 その他「高齢者医療制度の経緯等について」事務局より説明 その後、各委員より下記のとおり意見がでた。

記

- 政権が変わったという事が原因だろうと思いますが、やはり先の政権の場合には、かなりこの社会保障制度で特に後期高齢者の問題に対しても急いだと言いますか、かなりスピードアップした感じがあったと思いますが、やはり政権が変わって、当然の事だと思いますが、その後の動きというものが本当にはっきりしていないような、そういう傾向が感ずる訳で、はたしてその1年後という間に、きちんとした事が出来るだろうか。
例えば、生活保護に対する措置、生活困窮者対策、生活保護制度の問題などについても、時々、新聞やテレビなどの報道で見受けられますけれども、どうも方向性がハッキリしないというような感じがしている。
- 民主党政権の時に、後期高齢者医療制度の名称については、おかしいじゃないかという。確かそんな流れがあったと思うんですけど、その話はどっかで消えてしまったように思うんですが民主党政権でそのことについて、何か検討された経過はあるのか。
- 国民会議が3回会議を開いておりますが、今のところ3回は情報収集だけのようです。

ですから、8月21日までの期限がありますので、どうなるのかは大変気にはしているのですが、健康保険組合も、相当拠出金の支援金が多くなってきて、解散する組合もありますので、何とか国民会議で前期高齢者の公費負担の問題にも突っ込んで頂いて、実現できれば健保もまた生き残れる可能性があります。

今年24年度で約10健保が解散ということで、1,470がだんだんですが25年度も、相当解散する事があるんじゃないかということで、先週話がありまして、健康保険組合も別途積立金が無くなりつつあります。大変、保険料も限度がありますから、景気の悪い時に保険料を上げるということはなかなかできないものですから、会議の中身がどうなるのかそこが一番期待をして希望を持っているところです。

- 今、事務局からご説明があった通り、また健保組合の方からのお話でも、まだ国民会議が3回目しか行われていませんので、今から行われるのは各団体からお話を聞きましょうという事になっておりまして、実質的な審議はまだまだこれからということで、先程お話があったとき8月21日が期限なんですけども、それまでにどの様な結論になるか、ちょっと私達も注視しているところで、会議の行く末がどうなるかを見守っているところです